

人口減少時代の自治会活動を考える研修会を実施

11月30日、豊岡市民プラザで豊岡市区長連合会研修会「少子高齢化・人口減少時代の自治会活動を考える」を開催し、講演と意見交換を行いました。当日は、午前午後に分けて区長ら延べ223人が参加しました。

講師には、水津陽子さん（合同会社フォーティR&C代表）を迎え、区の役の負担軽減や見直し、自治会活動を役員主体ではなく住民総出の活動に転換していくこと、若い世代を呼び込み、その力を借りて行くことなど、人口が減少していく中での自治会運営について講演されました。

参加者は「運営のヒントやアイデアを得ることができた」と話していました。

《問合せ》総務課 ☎23-11116



▲参加者は、講演を聞いた後各テーブルで意見交換を行った

バス交通について考える自分ごと化会議2回目を開催

11月24日、豊岡稽古堂で「第2回自分ごと化会議」を開催しました。無作為抽出された市民のうち参加希望の10人が参加し、第1回会議の内容を踏まえて、地域に最適な交通のかたちを考えました。

参加者からは「地域住民同士の協力による交通手段の確保ができないか」「共助交通なら地区をまたいで運行できるのではないか」「バスの貨客混載やスクールバスの一般客混乗をすべき」などの意見が出ました。

今後、全2回の会議等で出た意見を提言書としてまとめ、その提言を参考にして、今後の地域の交通関係事業を展開していく予定です。

《問合せ》DX・行財政改革推進課 ☎21-9146



▲2グループに分かれての議論の後、全体で意見の共有を行った



▲会議の様子は、ホームページから見るができます

5年ぶりに文化財を守るための消防訓練を実施

11月24日、長楽寺（日高町上石）で、薬師堂から出火し延焼拡大したとの想定で初期消火と文化財の持ち出しを含めた消防訓練を行いました。

これは、文化財防火デーの取組みとして消防訓練を実施したもので、新型コロナウイルス感染症や荒天による中止を経て、5年ぶりの開催となりました。

訓練に参加した水生恵正住職は「長楽寺は、立地上消防車が境内に入らず、可搬式ポンプとホースを中継し放水しました。消防団員の皆さんの連携と作業を目の当たりにし、お寺と文化財を預かる者として改めて防火への意識と注意を肝に銘じました」と話されました。

《問合せ》文化・スポーツ振興課文化財室 ☎21-9012



▲麓の消火栓からホースを中継し薬師堂に放水する消防団員

文化財防火デー…1949年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけに定められた